



かえでゆうびん 11月号

平成30年11月1日
社会福祉法人 清松学園
かえで 保育園
園長 引地 美津代

11月になりました。暑い夏が落ち着き気持ちの良い替えが吹き始めたかと思うとあっという間に季節が流れてしまいました。18時まで走り回れた園庭も17:30には薄暗くなってしまい、外遊びのお片付けの時間が早くなってしまいました。今年はどんな冬がやってくるのでしょうか。

そんな季節の間の移り変わりに気付いたり「虹」を見つけたり、夕焼けや雲の動きに興味を持ったり、子供の撮影した作品で素敵な写真集が出来上がりそうです。

さて今年の運動発表会も無事に終えることができました。9月から10月にかけて台風が毎週のようにやってきて天候の変化が激しく、判断に困る日々でしたが、かえでの運動発表会は何より運動会日和になり日ごろの活動や友達とのかかわりあいを披露できました。子どもたちは緊張しながらもいつもよりもっと頑張る力を発揮し、大満足の笑顔をお見せできました。かえで保育園でのお付き合いの歴史の浅い保護者の方からは「先生。運動発表会は園庭ですの？」ときかれまして。「もちろんです！」と答える私。「先生今年も工夫されましたね」と労をねぎらってくださる保護者の方々。

「もちろん！」は子どもたちが毎日遊びの中から習得してきた運動機能を発揮するにはここしかありません！どんなに大きい公園や天井のある体育館でもいつもの様子どおりに行うことは難しく、荷物の移動、安全確認など職員や子供たちの負担を考えると狭いですが譲り合って移動していただきながら観覧していただく行事でありたいと思い園での行事を優先しています。また、子どもたちから考えると「ここはどこ？」「何故保育園じゃないの？」と不安いっぱいであるより子どもにとってここが学びに場所ですから今後も皆様にご理解いただきながら新たな遊びを進めていきたいと考えています。

また、10月後半から始まった「保育参観」に来られる保護者の方にどの子供も集まり、一緒に遊んでもらえるうれしさと抱っこしてもらえたり、折り紙を折ってもらったり・・・

かえでの「保育参観」は我が子だけに向き合うのではなく、ご自分のお子様を中心にしながらも全体を見守ってくれる「ほんわかした保育参観」になっています。どうぞ、貴重な休みを取っていただいで参観。ゆっくりお子様の保育園での生活や友達との関係や成長を見守ってください。

また、階段のかえでギャラリーや各お部屋も見てくださいと子どもの思いのこもった作品にたくさん出会えます。また11月1日から1か月間、三井住友銀行にみんなの作品が飾られます。楽しみです。



先日、恒例の杉玉づくりを始めました竹で編んだ籠の玉に杉の葉を丁寧に挿し込んでいく作業ですが、主任とともに一年の振り返りをしながら作っています。葉を挿し終わるとハサミでカットしていきます。最終はだいちの子どもたちと仕上げ11月1日に玄関に飾ります。

★かえでカフェのお知らせ

10月27日(土曜)15:00~大勢の参加で行いました。お子様も一緒に多くの方がご参加いただけました。これからフラダンスを楽しむ予定を皆さんで話し合い、皆が参加しやすい方法・内容になりそうです。

次回は11月8日(木)16:30~、ランチルームでフラダンスごっこを行います。

音楽やグッズでハワイを感じる時間になりますよう・・・

また、第2回フリーマーケットは、12月1日(土)に決まりました。

詳しくはお便りでお知らせいたします。

にこにこメッセージ

10月の運動発表会、心地のよい秋の風が吹く中での開催ができました。全園児が参加する事ができ、何より嬉しく、お父さんやお母さん、この日のために遠方よりお越し下さるおじいちゃんやおばあちゃん、親戚の方々が見守って下さる中、一部も二部もあつというまの時間が過ぎていきました。狭い場所に隙間なく座っていただくことで身動きもとれず、いつも心苦しく思いますが、毎年楽しみにご参加していただける事、私たちはみなさまにお会い出来る事も楽しみにしています。一人ひとりの子どもたちに、温かいまなざしや拍手を送って下さることが、子どもたちの成長の糧となっているような気がします。かえで保育園の行事は、見せるために見ばえを考え、作り上げているのではなく、普段の子どものおそびや過程を形にしています。こんなことやってみたい、こんな作ってみたらいいかもというようなことを小さな子どもも発信してくれますので、日々の生活の中でのことをプログラムに盛り込んでいます。私たち保育士は子どもたちといっしょに考えたり、笑ったり、時には悩んだりする事で、大人も子どもも成長できていると感じています。これからも子どもたちの応援団として、大切に日々見守っていきたいと思います。

主任保育士 藤森 寿美

【 せんせいからのおはなしコーナー 】

小学1年生になった娘は、重たいランドセルを背負い新しい生活へトライしていました。気付くともう10月が終わり、季節もめぐり、体も心も成長していっていました。始めてばかりの1年生生活に親は慣れるのに時間が掛かる中、子どもの方が以外と戸惑うことなく楽しく過ごしているので少しホッとした私でした。保育園生活とはまったく変わってしまう状況で、仕事から帰ると宿題確認や明日の準備と慌ただしい生活となる中、ゆっくり娘と話せる時間はお風呂の時間でした。保育園の時からお風呂の時間は娘との大切な時間でありましたが、いつまでも入ってはられませんよね…。学校での事や育成のこと、時々保育園での事を思い出しながら話をしています。10月にプチ同窓会といった感じで集まる計画となり、その話を娘にすると「やったー誰がくるのかな？〇〇ちゃんと〇〇くんと…」一人ひとり名前を思い出していました。年長児で歌った『ね』の歌をみんなで歌う事を伝えると「えーどんな歌だったかな」と思わせなかった娘でしたが、一緒に歌うと少しずつ思い出し毎日その歌を何度も歌っていました。「みんなに会えるの楽しみだな…保育園楽しかったな」と言っている娘を見て、私もなつかしくなりました。保育園で仲間や先生と楽しく過ごしたことが、小学校へ行っても楽しく充実した日々を送ることが出来ているように感じました。不安なのは親だけで、子どもはたくましく生きていることに改めて感じ、これからも子どもを信じ見守っていこうと思います。かえで保育園の保護者の方と、今後も親としての話もしたいと思いますので、たくさん教えて下さい。

保育士 西口 智子

ねらい：「秋を感じよう・たくさん身体を動かしてあそぼう」

う た：「いとまき・げんこつやまのためきさん・オスワリヤス・せんべ せんべ」

歩行が安定してきたお友達もいれば、つかまり立ちが出来るようになったお友達もいます。それぞれの成長はありますが、お友達と真似っこ遊びをしたり、おしゃべりをしたりと毎日にぎやかです。つかまり立ちのお友達は、今までの座っているところからの世界から、新しい世界が広がるようになりました。

“たっちで見える世界”



例えば、園庭ではベンチを見つけて手を掛け、たっち！園庭で遊んでいるみんながよく見える！嬉しくてお尻を上下にふりふりしてしまいます。遠くに先生を見つけては、にこっと笑ってくれますよ。

お部屋の中では、棚につかまって、たっち！何だかいい匂いがすると思ったら、ご飯の準備をする先生の姿が。ご飯の匂いだったのね、と急にお腹がすいてきて、準備が出来るまで棚からじっと見つめて「もうできたかな」と待っています。

色々な世界を見て、知って、覚えて、たくさんすることに気付いていているのですね。

“階段よいしょ”



園庭で大人気なのが、階段。はいはいでも、手すりにつかまってでも、階段をどんどのぼります。先生に手を繋がれなくても、一人で行けるんだよ、と自信満々ですよ。のぼることに夢中で、気付けばもう一番上。後ろを振り返って先生と目が合うと「すごいでしょ」と嬉しそうです。もう一度手すりにつかまって降りるお友達もいれば、滑り台に挑戦するお友達もいます。滑り台は思ったよりもスピードが出て驚いていますが、降りた後は、「もうっかい！」とまた挑戦しています。

“のせて のせて”



わらべうたが聞こえると先生の近くに集まってくるめばえさん。「うまは としとし」というわらべうたが聞こえると、先生の足の上に座りにやってきます。このわらべうたは、大人の足の上に乗って揺れるもので、この遊びはとっても盛り上がります。お友達が一人乗ると、その後ろに一人、また一人と次々と足の上に乗る、足の上にみんな乗っちゃった！なんて日もありますよ。みんなが乗ると、身体が当たってぎゅうぎゅうですが、その肌との触れ合いも楽しいのかもしれない。

ませんね。大人と1対1でも、もちろん盛り上がりますので、ぜひやってみてくださいね。

“担任の思い”

身体の動きが大きくなってきたこの頃。前までは上れなかったのに、段差の上に乗ってる！なんてことも多くなってきましたよね。下り方も分かってきて、足からそうっと下りようとするこもあれば、思いのほか高すぎて下りられないなんてこともあり、小さな体で挑戦している姿が見られます。擦り傷などの小さな怪我をすることも増えてくるとは思いますが、自分でできるようになったことが嬉しいこの時期を大切に、安心して過ごしていけるように見守っていきたいと思います。

～ふたばぐみ～

ねらい：「秋を見つけよう」

うた：「きのこ」「大きな栗の木の下で」「どんぐりころころ」

わらべうた：「かごかご」「ドッコヤガイン」「せんぜかのんの」

運動発表会では大好きなお母さんやお父さんと一緒に楽しい時間を過ごすことが出来、子どもたちも緊張の表情の中に、嬉しそうな笑顔を見せてくれていました。秋も深まってきて、肌寒い時期に入ってきます。体調を崩しやすい季節にもなりますので、子どもたちの日々の体調に気を付けながら保育を進めていきたいと思ひます。

ごはんできましたよ～！！

ままごと遊びが大好きなふたばさん。先日、新しいキッチン台を部屋に置きました。コンロに鍋、お皿などの新しいままごと玩具を見ると、大喜びで次の日からさっそくご飯作りに夢中になっていました。鍋にたくさんのチェーンリングを入れてコンロでぐつぐつ・・・それをお皿に移し替えて・・・「できたよ～」とスプーンと一緒に机まで持ってきてくれます。お母さんの料理をする姿をよく見ているのだなと感心するほど、上手に料理の真似っこをしている子どもたち。机の上はあっという間にカラフルな料理でいっぱいになります。完成すると、先生や周りの友達も一緒に「いただきます！」とお友達との会話も少しずつ楽しめるようになってきたふたばさんの楽しい食事会は毎日笑顔いっぱいで大盛り上がりです。



自分でやってみる！！

ふたばさんでの生活も半分以上が過ぎ、子どもたちは様々なことが一人で出来るようになり「自分でやる！」「やってみたい！」という意欲がたくさん見られるようになってきました。食事ではこれまで介助スプーンを使って進めてきたのを、子どもたち自身で食べ進めていけるよう見守っています。また、エプロンやタオルも自分の物を見つけて「ここ～」と席に着いたり、ロッカーの場所も覚えて「自分でいれる～」と片付けまで行ったりする姿が見られるようになってきました。さらに、毎日トイレに座る習慣をつけていく中で、トイレに座って排泄をすることが出来るお友達も多くなってきました。少しずつですが、確実に成長を感じる日々です。「できた」の瞬間の笑顔と誇らしげな表情は本当にキラキラしています。これからも子どもたちの「やってみたい」という思いに寄り添い、見守っていききたいと思います。



“担任の思い”

少しずつ肌寒い季節になって来ますが、みんな元気いっぱい園庭に出て遊んでいます。体力もついてきて、お部屋に入る時間になっても「まだ～」と遊びに夢中になっている毎日です。これからの気持ちのよい季節、散歩にもたくさん出かけたいと思っています。園庭の葉っぱやどんぐりにも、興味深げに手に取っている子どもたち。これから、さらにたくさんの落ち葉や木の実などが見られると思います。子どもたちと出かける中で、様々な秋と一緒に感じていきたいなと思ひます。

西口智子・高田菜沙・柴原ちはる

～つぼみぐみ～

ねらい：「秋の自然に触れる・友達と一緒に遊ぶことを楽しむ」

う た：「まつぼっくり・森のくまさん・あたまかたひざぼん」

運動発表会では緊張しながらも入場行進やサーキット・親子競技と盛りだくさんの演目を楽しんでくれました。予行の時は張り切って勢いよく行っていたみんなですがお父さん・お母さんの注目を感じるとときどき…。いつもと違った表情が見られました。緊張感の中で演目を出来たことが大きな自信になり体操の日だけでなく日ごろの遊びの中でも走ったり、鉄棒をするなど「見ててよ」と張り切って遊んでいます。また、友だちとの関わりが増えみんなでごっこ遊びをしています。お友達に布団をかけてあげて優しくトントンしながら子守唄を歌う姿も見られるようになりました。



～粘土とお絵かき～

お部屋で遊んでいると「ねんどしたい・お絵かきしたい」と子どもたちから声が上がります。粘土を出すとコロコロ手のひらで伸ばしヘビを作ります。「長いが出来たよ」と先生に見せたり友達の作ったものと長さを比べて「こっちの方がながいかな」と長さを競い合っ

ています。丸を作ることは難しいですが転がしながら作り「おだんごみたーい」といろんなものに見立てて遊んでいます。10月に入りクレパスでお絵かきをするようになりました。筆圧によって書き方が変わる面白さや画用紙いっぱい集中して塗り潰すなどクレパスならではの色を楽しんでいます。また、なぐり書きだけでなくお父さん・お母さんの顔を描いたり動物を描いたり意図的なお



絵描きが出来るようになりました。

～ひかりさんとお散歩～

七夕祭り以来のひかり組とのペアでの活動。東三公園に行きました。お散歩の前からワクワクドキドキ…。「手を繋いでペアのお兄さん・お姉さんのお話を聞いてね」のお約束。しっかりと守っていました。つぼみ組では初めての東三公園。ひかりさんに手を繋いでもらい歩きました。公園に着いたら赤



色の葉っぱや黄色の葉っぱ、どんぐりや木の実など秋の自然物をたくさん集めました。ペアのお兄さん・お姉さんと「ここにもあるよ、いいのつけたよ」と話をしながらいろんな葉っぱを集めて楽しんでいました。ひかりさんとペアだったからこそ小さな木の実やいろんな形の葉っぱを見つけることが出来ていました。園に帰って来てからは取ってきた葉っぱを画用紙に貼ろうとなり、そのままペアの子たちと作りました。ひかりさんが描いてくれた木の上ののりで葉っぱを付けました。ひかりさんに「ここに付けていいよ、いっぱいつけようか」と自分たちで取ってきた葉っぱを思う存分貼りました。ペアの二人の個性が出た素敵な作品が出来上がりました。



“担任の思い”

友だちとの関わりがほとんどで気の合う友達と好きな遊びをして過ごしています。最近は、先生がいなくても喧嘩の仲裁をしてくれたり自分たちで仲直りをするが増えました。暑い夏にいろんな経験をした子どもたちは一回りも二回りも成長したことを感じさせてくれます。秋から冬に向けて「自分のことは自分で出来る」ように援助していきたいと思っています。出来ないところは先生だけでなくお友達に助けてもらいながらみんな成長していけたらと思います。

林千紗・山本あかね・星加由美子

ねらい：「友だちと一緒にあそぶ楽しさをたくさん経験する」

う た：「やまのおんがくか」「てのひらをたいように」

運動発表会では初めて 2 部に参加して、たくさんの人を見て緊張している姿も見られましたが、最後まで一生懸命頑張ったいぶき組。去年は恥ずかしくてモジモジしていたお友だちも、今年は元気いっぱいの返事をして入場し、競技を楽しんでいる姿をみると 1 年の成長を大きく感じました。それと同時にだいち組の組体操を見ると「2 年後はこの子たちも…」と考えられた方も多いと思います。毎日様々なことを経験して吸収していく子どもたちと一緒に、楽しんで過ごしていきたいです。



“カブさん植えたよ”

ゴーヤの季節も終わり、新しく栽培を始めようとみんなで話した結果、カブを植えることにしました。去年から「大きなかぶ」のお話が大好きないぶき組。ゴーヤは苗から始めたので、今回は種をまくことにしました。一人一つポットを手渡して、自分で種をまきました。「葉っぱやお花はみんなの声が聞こえているんだよ。」と話す、「じゃあ歌を歌ってあげよう！」「ポンポコリン



踊ったら芽がでるんじゃない？」と話し合い、カブの前で歌ったり、踊ったり…。

3 日後、たくさん芽が出て大喜び！「やっぱり聞こえていたんだね…」とそれから毎日話しかけながら水やりを頑張っています。また、小さなお友だちも何を育てているかわかるようにとカブの絵も描いてくれました。食べられる日を今か今かと毎日覗いています。大きなカブができますように。

“力をあわせて”

運動発表会を通して、「友だちと力を合わせる」ことを経験しました。練習では、どちらかが先に急いでしまったり、うまく息が合わないこともありましたが、当日はみんなで力を合わせて頑張りました。それからというもの、何か困ったり不安に感じることがあると、「でも大丈夫！一緒にカメさん運んだから！力を合わせたらできるよ！」と話してくれるようになりました。

ひかり組と一緒にしたパラバルーンも印象的だったようで、いまでもスズランテープを握りしめて園庭を走り回っています。

今まで以上に“誰かと一緒に”することを嬉しい、楽しいと感じてくれているようです。



“担任の思い”

運動発表会を終えたあと、「一番たのしかったこと」を大きな画用紙に描きました。「そこが印象に残っているのか！」と感ずることもあり、子どもの目の付け所や興味の持ち方は本当におもしろいなと思いました。絵がどんどん形になってきたことで、描きたい物がしっかりあり自分だけでなく周りのお友だちを描いたり、一緒に楽しんだことを話す姿が増えてきたことが印象的でした。自分だけの世界が広がり、周りへの興味、関心が出てきているのだと感じます。「一緒にすると楽しい」という気持ちをこれからももっと感じてもらえるようそばで見守ってまいります。

ねらい：「いろんなお友達との関わりを楽しもう」

うた：「風になりたい」「きのこ」

運動発表会では運動あそびでの逆上がりや跳び箱と子どもたちのやってみようという気持ちを見ていただけたでしょうか。週明けの月曜日は運動発表会で楽しかったこと、頑張ったことを話しながら絵を描きました。入場する時にドキドキして緊張したこと、いぶきさんと息を合わせたパラバルーンとお友達と思い出しながら盛り上がっていました。「だいちゃん跳び箱かっこよかったな」「逆上がりも上手やったね」と運動あそびから“やってみよう”の気持ちから憧れも少しずつ増えてきたようです。出来ないけどやってみようという気持ち、諦めずに続けた先の達成感や楽しさをこれからも感じて欲しいと思います。

“いろんな色だんご”

涼しくなり始めてから園庭では泥団子づくりが再び流行り始めています。春頃よりもこの土を使ったら綺麗に出来るか研究する子もいました。自分の手よりも大きい団子、小さいけれどぴかぴかに光る団子と様々な形がありました。「お団子って茶色だけだね」「いろんな色があつたらいいな…」「絵の具で塗ってみようか」と考える子もいました。「あ！色砂はどうか？」と以前から御前浜で集めた砂を使って作っていた色砂をかけることに。「どうなるかな…」ぴかぴかに光る団子に少しずつ砂をかけて「付いた付いた！」と段々色団子が出来てきました。今では沢山あった色砂も無くなってしまい…御前浜でまた集めて作ろう！と近々お散歩に行こうと計画中です。



“秋あつめ”

クラスで歌っている『まっかな秋』を歌い始めてから園

庭では秋の葉っぱ探しが始まりました。ですが、なかなか色づいた葉っぱが見つからず…公園に行ってみる？と話をしました。「ひかりさんだけで行く？」「つぼみさんとも行ってみたい」と子どもたちの提案からつぼみ組、ひかり組でお散歩に行くことになりました。最近では「つぼみさんのお部屋行ってもいい？」とおままごとをしたり、一緒に絵本を見たりと部屋を行き来することも増えてきました。七夕祭り以来のつぼみ組とのペアでしたが、「〇〇君と一緒にのペア」「ちゃんと

覚えてるで」「よろしくね」と顔を見合わせて笑顔で手を繋いでいました。公園につくとペアの子と一緒に手を繋いで紅葉した葉っぱや枝探しをしていました。落ち葉取りに夢中になっていると「あ！つぼみさん！」「一緒に行こう」と声を掛けて探す子もいました。見てみると嬉しそうに赤ちゃんのどんぐりを見せる子に「綺麗な色だね」「あっちにもあるかな」とペアで探す姿がとっても可愛かったです。保育園に帰ってくる途中「帰ったら葉っぱ描きたいな」と集めた葉っぱを見つめながら話していました。葉っぱの他にもどんぐりや枝、木の実と秋の自然をたくさん集めたものをペアで1つの木を作りました。「つぼみさん木って分かるかな？」「僕らが先描いたらいいやん」と大きな木を描いて画用紙いっぱいにつぼみさんと一緒に貼りつけていました。それぞれのペアで様々な個性、想いが表現された作品ができました。



“担任の思い”

七夕まつり以来のつぼみ組とのペア活動でしたが、普段の生活の中でも「〇〇ちゃんおはよう」と自ら声をかける姿も増えてきて、少しずつ年下のお友達への興味も持ち始めています。

運動発表会をとおしてお友達が頑張る姿、挑戦する姿を見て「〇〇ちゃん上手だね」「どうやってするか教えて」とお友達の“いいところ”を話すことも増えてきました。子ども達自身もいろんな子と関わる中でお友達をより知る機会になったのではないかと思います。運動あそびではだいちゃんを見て「かっこいい！」「あんな風にやってみよう！」と憧れる気持ちから年下のお友達にも憧れられるお兄さんお姉さんでありたいと感じることができるよう機会をたくさんつくっていきたく思います。

～だいちぐみ～

ねらい：「友だちと計画を立てたり意見を交わす中で、相手の気持ちに寄り添う」

「身の回りの整理整頓を行い、自身の物を大切に扱う」

う た： 『小さな世界』『ゆうやけこやけ』

10月は園外に出かける機会が多く、初めての場所、初めての人との関わりの難しさを経験しました。14人という小さな集団の中で日々過ごしていますが、保育園を離れた後も、安心して自分らしさを発揮できればと思い、交流などの機会を見守っています。また、11月に予定しているお泊り保育をととても楽しみにしているようで、わくわくしながら皆で案を練っています。友だちと気持ちを通わすきっかけになればと思い、出来るだけ保育者は間に入らずに、子どもたちだけで話し合う場面も増やしているところです。何かハプニングが起きた際には、解決に向けて自分たちで工夫し、行動する姿が見られるようになってきました。

“友だちのきもち”

それぞれの作品の中にも強い想いが見られた運動発表会、組体操では「だいちさんの真剣な表情に驚いた」といった声がよく聞かれました。当日を迎えるまでに子どもたちの中でも様々な想いがありました。

子どもたちの自信に満ちたあの表情の裏に、どのような想いがあったのか、お伝えします。

「カッコいいところ見て欲しい」「前のだいちさんみたいにしてみたい!」という思いから組体操に取り組み始めました。毎日のように組体操をしようと朝から楽しみにしている子や、技を決められた時には誇らしげな表情を見せる子など、組体操をする時間をとても楽しんでいようでした。

しかし大技の役割り決めの中で、してみたい役が友だちと重なった時のことです。これも一つの大切な経験と思い、子ども同士のやりとりを見守っていたのですが、“みんなで組体操を成功させたいから、自分はこの役に回る”という姿と“自分はこの役がどうしてもしたい”という2つの想いが見られました。

この時、自身の思いに折り合いをつけることで、だいち組の組体操が完成するのならば…と、涙を流しながら友だちに役を譲っていた子もいます。この話し合いは子どもたちだけで終着点を見つけていたので、保育者は各々の気持ちを受け止めることにしました。

運動はっぴょう会まで10日となった日のこと、組体操について話をしている際に床に寝転んだりどこか気持ちが組体操に向いていないと感じていました。保育者がその場を離れた後もランチルームを走り回っていたりと、“自分たちでどうにかしないと!”という感覚あまり感じられず、Aちゃんが「先生、どうしよう」と相談にやってきました。

きっと子どもたちの中には保育者に教えてもらうものであったり、誰かがどうにかしてくれるとどこか他人事を感じているところもあったのではと思います。しかしそれでは子ども自身が考え工夫し、経験の中で感じられるものが何もない、ただの『発表会』になってしまう、と思いました。

そこで、14人で何か一つのことをするにも気持ちがばらばらで、本気でみんなで頑張ったことがまだないのでという話をしてみました。保育者が真剣に想いを伝えることで、子どもたちの心にも生まれる感情があるのではと考えたのです。

その後絵本の部屋に入り子どもたちだけの話合いが始まりました。Bくんが中心になり進め一人ずつ想いを言葉にしていきましたが、なかなか言葉が出てこない子もいるようでした。

運動はっぴょう会の2日前。未だに気持ちが向いていない様子の子もいたため、「このまま気持ちが一つになれなければ、見てくれる人に感動してもらうのは難しいかもしれない」と声を掛けました。だいちさんの中で徐々に気持ちは高まっているものの、気持ちに差があるのを感じていました。すると、話を聞いているうちにAちゃん、Cちゃんが涙を流し始めたのです。「何で涙が出たんだろう」と尋ねると「悔しい」と心の声がこぼれました。2人の姿を見て目に涙を浮かべる子もいました。

今まで“どうしよう”と思う子はいても、なかなか自身の思いを表現



出来なかったり、友だちにどこか遠慮しているような様子がありましたが、この時だけは感じていたことが涙と共に溢れ出たようでした。

そして運動はっぴょう会前日。「心を一つにだいち組！」「えいえい、おー！」みんなで考えた円陣の掛け声で気合いを入れただいちさん、全員の気持ちが一つになっているのを感じました。確実に子どもたち一人ひとりの眼差しが違っているのが分かります。この日の演技は担任だけでなく、他クラスの保育者や当日は見ることの出来ない職員も、皆がだいちさん 14 人の演技に心を動かされ、“本当にみんな大きくなったね”と成長を感じた瞬間でした。

この日、保育者の中でも心に決めていたことがあります。「たとえ気持ちが一つにならなくても、技が上手く決まらなくても、自信を持って取り組めるような関わりを意識しよう」そう話していました。

涙を流したあの時に、子どもたちの心の中には“どうしよう”という気持ちや“悔しい”という想いが生まれているように感じたからです。

最後の予行を終えただいちさんは、やりきった！出来た！といったような笑顔が見られました。きっと、自分たちの気持ちが一つになったことを感じ、友だちと一つの目標に向かう楽しさも感じていたのだと思います。

「みんな、最高だったよ。」そう一声かけた瞬間、AちゃんとCちゃんは周りの友だちには気づかれぬように、静かに目に涙を浮かべ、じっと前を見つめていました。きっと嬉しさとおどろきの気持ちとが入り混ざっていたのかもしれないね。



“担任の思い”

だいち組の保護者の方はもちろんのこと、他クラスの保護者の方々もだいちさんの姿を温かい眼差しで見守ってくださったこと、「みんな大きくなりましたね」と成長を共に喜んでくださったことがとても嬉しく、心が温かくなりました。運動はっぴょう会当日には子どもたちの眼差しや真剣な表情が見られましたが、その裏には確かに一人ひとりの想いがありました。様々な出来事や想いを飛び越えて結果だけに注目が集まる行事ではなく、心の葛藤や成長を大切に思い喜び合える環境でありたい、と強く思います。

11月のお泊り保育では“やってみたいこと”や“みんなで食べたいもの”を出し合いました。にこにこ広場に掲示していますので、是非ご覧ください。また、自分の興味のあることを出し物として、お泊り保育当日に発表したいと考えています。グループに分かれて友だちと計画する子や、個人で準備をすすめている子もいます。

「お友だち楽しんでくれるかな」と楽しみにしているだいちさんです。

河本 彩奈

めばえ・ふたばからのお知らせ

- 日中は暖かい日もありますので、ロッカーの中に半袖の準備をお願いします。
- キャミソールまたは半袖タイプの肌着を持って来て下さい。(ふたば以上のクラスはロンパースタイプのものはお控え下さい)
- これから散歩に出かける日が多くなってきます。運動靴での登園をお願いします。また、その際に靴への記名もご確認ください。

つぼみ・いぶき・ひかり・だいちからのお知らせ

- 日中は暖かい日もありますので、ロッカーの中に半袖の準備をお願いします。
- 上着のご用意をお願いします。子どもたちが自分で掛けられるように首元に紐と、上着への記名をご確認ください。外遊びの際に使用しますので、動きやすく汚れても良いものをご用意ください。

保護者の方からのおはなしコーナー

家では好き嫌いがあるが、園では完食。
園では早食いらしいが、家ではもっちりもっちり食べています。
たった3歳なのにもう外面、内面があるのにビックリです。
でも園では色々頑張っているんだと思うと家ではついついあまり甘やかしてしまいます。

つぼみ組 みずえさん

今まで大好きなチーズは人にあげなかった娘が、先日買ったパンダのぬいぐるみに「あーん」と言いながら食べさせている姿を見てほっこりしました。
保育園でお姉ちゃんたちがしていることを真似しているんだなあと思いました。
これからも色々なことを吸収して欲しいと思います！

めばえ組 あゆみさん

先日娘が誕生日を迎え、保育園でもらったバースデーカードを嬉しそうに何度も読んでいました。
前にもらったものも見たい！と引っ張り出してきて懐かしく思いながら5年分を見返しました。

だいち組 りかさん

幼児クラスになり、お兄さん、お姉さんと過ごすことが多くなって沢山の刺激をもらっているようです。
「〇〇できるで」「〇〇はこうやってやるんやで」と教えてくれます。
1歳の弟にもお姉さん口調で話しかけています。いつも保育園でしてもらっていることを弟にもしてあげているのかなと見ていて微笑ましいです。

いぶき組 ちかさん

「運動発表会、かっこいいところをジイジ、バアバ、お父さん、お母さんにみせるから練習も頑張るねん」と言っていた息子は当日も元気いっぱいにとび箱を嬉しそうに飛んでいました。
毎年どんどん出来ることが増えて今まで以上に前向きに楽しそうにしている姿が頼もしく嬉しかったです。

ひかり組 しんさん

保育園で最後となる運動会。
逆上がり出来るで～と言うのに、一度も見せてくれず、本当に出来るのか！？と思いながら運動会を迎えました。
サーキットが始まると上手にクルッと回り、跳び箱もポーンととび…びっくりしました。
組体操でも緊張で顔が引きつりながらも、自分が技の名前を言う前はお友達が準備出来ているかをしっかり確認してから言う姿に成長したな！！大きくなったな！！と思いました。
残り5か月お友達と一緒に楽しんでほしいと思います。

だいち組 さとみさん

保育園での出来事や先生が話した内容を話してくれるようになった息子です。
「明日は〇〇の日だからね。〇〇忘れないでね」「〇〇に行くよ。〇〇先生がお話してたんだよ」と教えてくれるようになりました。
又、言葉の成長も著しく、ふとした瞬間に大人びた事を言うので、怒っていても思わず笑ってしまい、ほっこりした気持ちになります。これからの成長がとても楽しみです。

いぶき組 よしみさん

☆お台所から☆

日が沈むのもずいぶんと早くなり風が冷たい季節になってきました。11月も子どもたちが元気いっぱい過ごせるように身も心も温まるおいしいごはん、おやつを提供していきます。

10月の食育活動の様子

- ・おにぎりづくり（いぶき組）

おやつのにんじんおにぎりを自分で握りました。ラップの上から「にぎにぎぎゅっぎゅっ♪」と歌いながら楽しそうに作りました。まんまるにしたり、細長くしたり個性豊かなおにぎりを美味しくいただきました。

- ・誕生日ケーキのトッピング（だいち組かぜグループ）

今月はぶどうとりんごのケーキ。今日はぼくたちが果物飾る！と朝からわくわく楽しみな様子で「ぶどうはまわりをぐるっと囲みたいね～」「果物いっぱいだね」とみんなで協力しあい完成しました。

・そのほかにもカレーのにんじんを切ったり、サラダのレタスをちぎったりお昼ご飯のお手伝いも楽しんでしてくれました。



11月の献立で使用する旬の食材

白菜・ごぼう・れんこん・大根・小松菜・ブロッコリー・里芋・ほうれんそう・みかん・柿

11月に予定している食育活動

- ・おやつのパンを生地からつくる（だいち組）
- ・お誕生日ケーキの果物のトッピング（だいちのそらグループ）
- ・白玉団子を丸める（ひかり）・にんじん、じゃがいも、たまねぎの皮むき（いぶき）



- 11月1日～30日、西宮市のストリートギャラリーに参加します。阪神西宮支店三井住友銀行にて、かえで保育園の子どもたちの共同作品が展示されます。是非、ご家族でご覧下さい。
- 11月より高校生のボランティアを3名受け入れます。平日の夕方や土曜日にお手伝いしていただきます。
- 10月のかえでゆうびんでお知らせしていましたが、こども園への移行説明会は準備が整わず、1月以降に延期いたします。詳細は後日お知らせします。

11月16日(金)はだいちのお泊り保育があります。職員全員でプログラムをサポートします。可能なご家庭は早めのお迎えにご協力をお願いします。日割りの延長は緊急以外は受け付けません。また、17日は家庭保育のご協力をお願いします。リフレッシュ保育はありません。



《11月の予定》

- 6日(火) 眼科健診 14:30～
- 7日(水) 絵画・巡回指導
- 8日(木) かえでカフェ
16:30～17:50
- 9日(金) お弁当日(全園児)
*めばえ、ふたばもお願いします
- 12日(月) 児童交流会(だいち)
- 14日(水) 園庭砂場、砂の入れ替え
(西宮市より)
- 16日(金)～17日(土) だいちお泊り保育
- 19日(月) だいち 松秀幼稚園交流
- 21日(水) 警察による立ち合い訓練
- 26日(月) 絵画
- 27日(火) おじゃましますの会(だいち)
*用海保育所のお友だちがあそびに来てくれます。
支援事業)子育てカウンセリング
- 28日(水) 誕生日会
- 29日(木) 支援事業)ベビーマッサージ
*9月の振り替え分です。

こんなことしたよ♪

10月13日運動発表会がありました。この日を待ちわびていた子どもたち、各クラスごとに思いの詰まったプログラムがたくさん見られましたね。天候にも恵まれ、気持ちの良い秋空の下、子どもたちの元気な声とたくさんの笑顔が見られました。お忙しい中ご参加下さった保護者の皆様、ありがとうございました。



24日(水)はつぼみ～だいちのお弁当日でした。幼児クラスの子どもたちは夙川公園に出かけました。どんぐりを拾ったり、遊具で遊んだり…たくさん遊んだ後は、みんなが楽しみにしていたお弁当!「見て～!」「美味しいね」と嬉しそうに食べていましたよ。お忙しい中お弁当の準備をありがとうございました。



《12月の予定》

- 1日(土) かえでカフェによる
フリーマーケットパート②
- 7日(金) お弁当日(全園児)
- 15日(土) 成長発表会
- 18日(火) ふれあい動物園
*野菜や果物の持ちよりをお願いします。
- 19日(水) 西宮市による指導監査
- 29日(土)～1月3日(木)